

自動車新時代戦略会議（第1回）
議事要旨

日時：平成30年4月18日（水曜日）12時00分～13時30分
場所：経済産業省本館17階第1特別会議室

出席者

自動車新時代戦略会議委員：

秋池委員、伊佐山委員、小久見委員、小飼委員、小関委員、西川委員（代 川口専務）、
竹内委員、富山委員、豊田委員、長島委員、信元委員、八郷委員（代 倉石副社長）

経済産業省：

世耕経済産業大臣、多田製造産業局長、上田大臣官房審議官（製造産業局担当）、風木製
造産業局総務課長、河野自動車課長、小林大臣官房参事官（自動車・産業競争力担当）、
垣見自動車課 ITS・自動走行推進室長、石川自動車課電池・次世代技術室長

国土交通省：

島自動車局次長

議題

自動車新時代における戦略について

議事概要

1. 事務局から設立趣旨等について説明。
2. 委員からの主な意見としては以下の通り。
 - ・ 思い切ったゴールを設定し、それをもたらさずビジョンを打ち出すなど、国際的にレピュテーションを下げないような積極姿勢が大事
 - ・ 電動化等の技術およびそれを活用した事業で世界をリードしていくべき。特に日系メーカーのシェアが高いアジアにおいてイニシアチブをとるため、協調領域の検討が必要
 - ・ Well to Wheel も織り込んだ実質的に意味のある燃費規制が重要
 - ・ 電池こそ次の産業のコメ、世界に通じる強い日本企業を生むべく各社が協調して研究開発に取り組むことや技術流出の防止が重要
 - ・ 資源確保やリユース・リサイクルなど、企業がやりきれない領域を国として取り組み国際展開していくことが重要

- ・国や地域によってニーズが異なるので、エンジン車・二輪車・次世代車を上手く組み合わせ対応していくべき。特にアジア諸国においては、二輪が基幹産業であり、いかに電動化への適切な移行・変革をリーディングしていくかが重要
 - ・モデルベース開発やデジタル化による生産性向上が重要
 - ・モノ中心の発想から、ヒト、ユーザー目線での発想への転換が重要
 - ・新規ビジネスプレーヤーとオープンイノベーションをすすめるべき
 - ・モビリティとユーティリティ、エネルギーが融合することで、社会の絵姿が変わる可能性がある
 - ・地域の足をしっかりと確保する観点から取組を進めることが必要
3. 今後の進め方として、電動化を中心に実務的検討に着手し、夏目途中で中間整理を行うことを事務局から提案し、委員から了承されました。

お問合せ先

製造産業局 自動車課

電話：03-3501-1690

FAX：03-3501-6691